

札幌学院大学バリアフリー委員会 バリアフリー通信

第6号



☆Sapporo UniFes 2010☆



10月23日(土)、24日(日)札幌の大学が合同で主催する「Sapporo UniFes 2010」に参加しました。

初めての開催でしたが、参加した各大学はブースごとに自分たちの活動を来場した方々に熱心にPRしていました。

今回、本学のバリアフリー委員会は、道都大学が企画する「ボランティア」コーナーに出展し、「聴覚障がい学生に対する情報保障」という内容で、テイク活動をブースに訪れた方々にPRしました。

来場者は、テイクについて分からないことも多かったと思われませんが、ノート・パソコンテイクの体

験を興味深く行っていたように見受けられました。

(文責 飯塚大輔)

☆フィールドワーク☆

10月26日(火)18時30分より、D201教室にて、第2回フィールドワークが行われました。今回のフィールドワークでは、まず介助部から脳性まひや、それにより起こる身体のみひについての説明がありました。その後、車いす学生の実態について説明があり、まひが残っている手でも使える箸や、最新の車いす用車両なども紹介されました。普段知ることのできないことがたくさんあり、参加者には充実したフィールドワークになったようです。

(文責 藤田和真)



☆北大ボランティアフェスティバル☆



11月11日(木)、北海道大学にてボランティアフェスティバルが催されました。その企画としてのノートテイク体験にバリアフリー委員会が招かれました。

内容としては、まず音声を消去した映像を見、聴覚障がいのある人の世界を疑似体験することから始まりました。次に、バリアフリー委員会の会員がテイクの説明をし、実際にノート・パソコンテイクの体験をしてもらいました。

参加者の方々は、初めてのテイク体験に四苦八苦しながらも、聴覚障がいのある人にとってのテイクの重要性を実感してもらえたようでした。

(文責 小林舞子)

♡ | Love BF ♡



今回の「I Love バリアフリー委員会」は、初めて車いす介助を経験した人を代表して瀧口琢也さん(人文学部1年)、林拓弥さん(人文学部1年)の2名に集まっていただき、お話を伺いました。

Q: 車いす移動介助をはじめたきっかけは?

林: 僕は入学したときに、介助部部長の太田さんが外で笑顔で車いす介助をしているのを見て、自分もやってみようと思いました。

瀧口: なりゆきで。



Q: 現在週にどのくらい移動介助をおこなっていますか?

林: 前期は、教室移動と下校介助一回ずつ。後期はやっていません。臨時で。

瀧口: 特に数えていないのでわかりません。他の人に比べればちょっと多いかもしれません。



Q：車いす介助をやる時に気をつけていることは？

林：教室の出入り口で、ドアに挟まれないように注意したり、小さな段差にも気を配って、エレベーターで挟まれない。ドアを出て、支えてボタンを押しつつ二重で安全を確保しているつもりです。

瀧口：ちょっとまずったなとおもったら、しっかりあやまる。あとは楽しくやることを気をつけています。

Q：では、最後の質問です。介助をしていてうれしいことや、得たことはなんですか？

林：相手からありがとうといわれたときは非常にうれしいです。やりがいがあると思います。得たことは、今まで介助する機会がなかったので、ものすごく、勉強になりますし、介助される側の気持ちを考えるようになりました。

瀧口：うれしかったことは下校介助のあとに、古藤君の家でおかしが食べられることです。得たことは、車いすの知識と、言葉に言い表せないですが、いろいろと得るものがありました。林君がガチで全部いわれちゃった・・・。感謝されることってかっこよく言おうと思ったのにいわれちゃった・・・(笑)

Q：ではこれで終わりたいと思います。

瀧口：ぜひ介助をやってみませんか。簡単ではないですが、楽しくできると思います。宣伝です。ぜひ皆さんも冬道介助を！

Q：ということで瀧口君と林君のインタビューでした。ありがとうございました。



(取材：山口順也 記録：藤田和真 撮影：酒井紫織)

☆編集後記☆

山口順也：今回は推敲しか参加できませんでした。次は編集もしたいです。

酒井紫織：写真1枚張っただけですが・・・お疲れ様です、ルーラー怖い。

飯塚大輔：ちゃっかり記事書いちゃいました(' - ^*)ok ワラ

鈴木彩佳：今月は学外の行事が目立つ月ですね。周りの人がこの活動に興味を持ってくれて嬉しいですね。

藤田和真：頑張って作りました！皆さんお疲れ様です！

小林舞子：メリークリスマス！皆さん良いお年を！

村中咲和：久々に編集作業しました(少しですが)。やっぱり楽しいですねー、(^ω^)/